



### 市長提出議案

前ページから続き

#### ◆吉川市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例

教育委員会が行っている文化財の保護を除く文化に関する事務について、市長が管理し執行するための条例が議案提出されました。

委員会にて賛成多数により可決されましたが、本会議での採決により、賛成少数で否決となりました。

否決

この条例に対する討論の要点は次のとおりです。

#### 反対 濱田 美弥

文化部門を移すのであれば効果等の十分な説明と意見聴取に基づく市民や関係者の納得が必要だと考える。政治と教育・文化は一定の距離を保って取り組む仕組みが先人の知恵で培われてきた。文化・芸術はじっくりと醸成されるもので「スピード感」は必ずしも優先すべきではない。新たな組織編制を行うには説明責任が不十分で、議会と市民の納得が得られていないと受け止めざるを得ない。最後に福沢諭吉の言葉を紹介する。

「政事と教育と分離すべし」

#### 賛成 戸田 馨

文化事業の市長部局への移管は、ここまでに市が進めてきた

と確実性が求められており、拙速にすべきでない。

これまで産業振興条例制定と振興策を訴えてきた。今回産業振興部を新設する案であるが、まず実施すべきことは商工・農業の担当職員増や具体的事業であり、国から副部長級の派遣要請は安易すぎる。これでは市民の理解は得られない。

#### 反対 稲垣 茂行

新たな「産業振興部」設置は、以下の点から反対致します。

第1は、「産業振興部」を設置する必要性及び具体的目標・取り組みが見えない点です。

第2点は、手続き・手順。「産業振興条例」について、提案・議論もされていない中、「部」設置は時期尚早、拙速と考えます。

第3点は、行革の視点の欠如。費用対効果が求められます。

「産業の振興」は、現在の農政課、商工課を軸にした連携強化や政策室でのプロジェクト設置でも可能と考えます。

#### 賛成 戸田 馨

産業フェア開催やブランド米販売等、これまでに展開してきた事業を踏まえ「産業振興部設置」と「産業振興条例」との両輪により、今後更に吉川市の産業振興推進に力を入れてゆくといい

#### 反対 遠藤 義法

部設置条例は、これまで教育委員会が所管してきたおあしすなどを市長部局所管に移し、スピードある行政としているが、教育や文化に関わるものは継続性

この条例に対する討論の要点は次のとおりです。

議案「産業振興部の設置」の目的であり、これからの吉川市の産業振興には欠くことができないものであると考える。以上の事から賛成討論とする。

#### ◆吉川市庁舎会議室等使用料条例

新庁舎について、開かれた庁舎に資することを目的として、市の事務事業に支障のない範囲で市民等の使用に供するため、目的外使用に当たっての使用料を定めました。

#### ◆吉川市立学校設置条例の一部を改正する条例

平成32年4月1日に開校予定の仮称第4中学校の学校名が「吉川中学校」に決まりました。

### 人事案件

#### ◆公平委員会委員

平成29年12月22日に任期満了となる永瀬洋子氏が、再度選任されました

#### ◆人権擁護委員

平成30年3月31日に任期満了となる立澤秀子氏が、再度選任されました。

### 請願

請願の一部採択に対する討論の要点は次のとおりです。

#### 反対 雪田 きよみ

今定例会では、1件の請願が提出され、審議の結果「請願要旨①皆保険制度を支える国民健康保険制度へ国庫負担金の増額を国に要請してください。」を採択する、一部採択となりました。

住民が安心して医療を受けられる国民健康保険制度の充実に求める請願

請願者 医療生協さいたま

吉川支部 松村副子

全日本年金者組合

吉川支部 塩沼忠光

新日本婦人の会

吉川支部 山本延子

埼玉東民主商工会

吉川支部 雲雀君矢

吉川支部 小林 昭子

佐藤 清治

請願要旨①国保の構造的問題を共有できたことを評価する。要旨②県は財政調整交付金等の形で一般会計から市町村国保への繰入を行っている。平成28年度は590億円に上り、県は国保運営の困難さを認識している。要旨③国保は自営業者等だけでなく殆どの国民市民が定年後には加入する保険であり、社会保障である。特定の個人の課題ではない。要旨④市の短期保険証交付割合は近隣市町と比較しても高い。慎重な対処が求められる。よって一部採択に反対します。

#### 賛成 林 美希

請願要旨②埼玉県において現在国保会計にあたるものはなく、現状を踏まえた要望ではございません。要旨③繰り入れの増額を国保非加入者へご理解いただくことは難しいと思われま

請願要旨①皆保険制度を支える国民健康保険制度へ国の国庫負担金の増額を国に要請してください。②新たな保険者となる埼玉県に対し、一般会計から国保会計への繰り入れを増額するよう要望してください。③吉川市は一般会計から国保会計への繰り入れをなくさず増額してください。④資格証の交付、滞納者の財産差し押さえなどは滞納者の命と暮らしを脅かす恐れがあり、滞納者の健康状況や生活実態を充分調査・考慮し対応する事としていきます。付託された文教福祉常任委員会①の一部採択が可決され、その後本会議でも①の一部採択が可決されました。